

# 4 新たな小学校の特長

安心して楽しく過ごせるように  
検討を進めています。



新しくできる学校が  
楽しみだね!

## 新たな小学校は どんな学校になるの?

町田市では、人間関係や多様な考え方に触れ、学び合い、切磋琢磨する機会の充実という観点から、

小学校の1学年あたりの望ましい学級数を「3～4学級」としました。望ましい学級数の実現を図るために、通学区の見直しや学校の統合を行います。

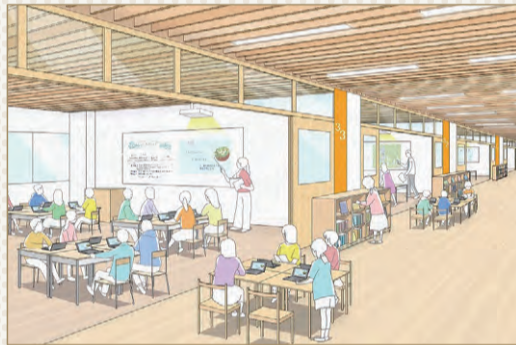
新校舎は、協働的な学習や学校生活におけるコミュニケーションの促進、多様な学習形態に対応で

きる環境を整備します。小学校ではオープンスペースを整備することで、普通教室を約1.7倍の広さで使えるようにし、協働的な学習や学年単位での活動を展開しやすくします。

### なぜ学校が大きくなるの?

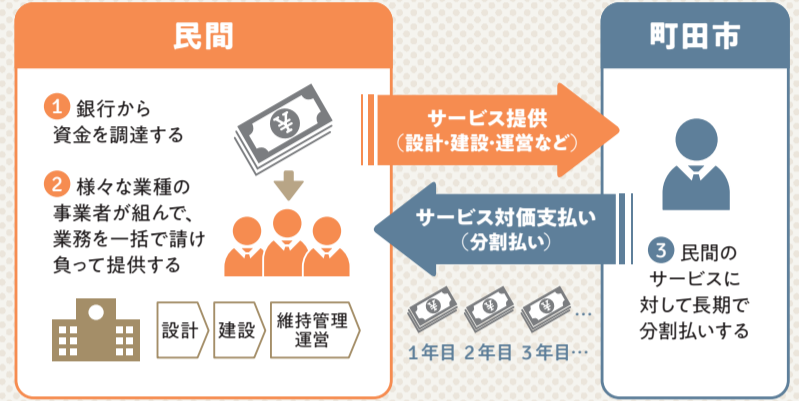
町田市の学校の多くは1960年～1970年代に設計・建設しています。当時の基準と比べて、必要な機能の増加や、面積が大きくなるなど、求められている教育環境は時代に合わせて変化しています。そのたびに、既存施設を改修するなどして対応してきましたが、時代に合った十分な教育環境ではありません。新たな学校では、これらの変化に対応できる施設を整備していきます。

	今の小学校の平均	新たな学校
施設の大きさ	約7,000㎡	約10,000～12,000㎡
普通教室	60㎡	110.5㎡ (オープンスペース含む)
体育館(アリーナ)	約500㎡	約700㎡



オープンスペース

### 新しい整備手法=PFI方式



公共施設の建築は、従来、設計・建設・維持管理などの業務ごとに細かく仕様を定め、分割して発注してきました。PFI方式では、細かい仕様ではなく、求める水準を示したうえで、すべての業務を一括して発注します。そのため、運営・維持管理を見据えた設計ができること、工事期間の短縮や工事費用の圧縮ができることなど、民間事業者のノウハウや創意工夫、発想力を活かすことができます。また、民間事業者が調達した資金を、市が複数年にわたり割賦払いするため、財政負担の平準化を図ることができます。

# 5 新たな学校づくりの今後の予定

引き続き5地区の検討を進めるとともに、  
新たに2地区の検討を始めます。



新しく始まる  
地区もみんなで  
考えていこう!

## 新たな学校づくり 基本計画推進協議会の設置

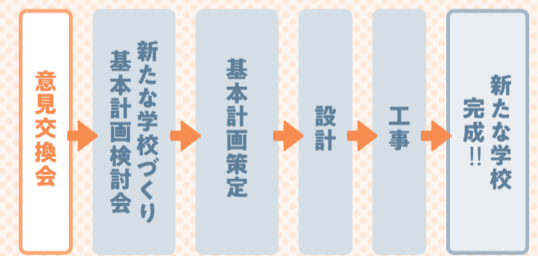
新たな学校の開校に向けて、2023年度以降も引き続き、保護者、地域の方、学校協力者、教職員の代表とともに話し合う新たな学校づくり基本計画推進協議会を設置しました。推進協議会では校歌・校章の作成方法や歴史の継承方法などの具体的な話し合いや、新たな学校づくりの進捗状況の情報共有を行います。各地区の日程は町田市ホームページでご確認ください。推進協議会の傍聴の申し込みは電話(☎042-785-5471)で受け付けています。



新しい校歌や  
校章が  
できるんだね。  
どうやって作るか  
話し合おう!

## 小山田地区、薬師・金井地区の 意見交換会

統合を予定している小山田小学校と小山田南小学校、薬師中学校と金井中学校についての意見交換会を今年の秋以降に開催します。どなたでも参加可能です。日時や会場については、町田市ホームページでお知らせします。



対象校・新校舎建設候補地	基本計画検討着手	想定統合年度	新校舎使用開始
小山田小学校	2024年	2031年	2031年
小山田南小学校(候補地)			
金井中学校(候補地)	2024年	2027年	2030年
薬師中学校			

### 【お問合せ先】 町田市教育委員会学校教育部

- 学校統合に関すること ..... 新たな学校づくり推進課 ☎042-785-5471
- 学校施設の整備に関すること ..... 施設課 ☎042-724-2174

### まちだの新たな学校づくりに関するお知らせ (町田市ホームページ)

推進計画などの資料は、町田市HPにも掲載しています。右の二次元コードからアクセスすることができます。



リサイクル適性 (A)

この印刷物は、印刷用の紙へリサイクルできます。

この広報誌は、202,500部作成し、1部あたりの単価は5円です。(職員人件費を含みます。)